

議 会 報 告 会 報 告 書

1. 開 催 地 区 名 北浦地区
2. 開 催 日 時 令和8年8月8日（土） 13時25分から15時08分まで
3. 出 席 議 員 畠山 富勝（代表者） 鈴木 元章（職務代理者）
 三浦 利通 古仲 清尚 猿田 真
4. 参 加 者 数 20名

5. 意見・要望等

（1）議会に対する事項

- ① 猛暑日が続く時期やお盆前の繁忙期に配慮するなど、議会報告会の開催時期を変更できないものか。
- ② 数年前から現行における議員定数の在り方はいかがかと進言してきたが、このたび議会改革調査特別委員会を設置したことは非常に喜ばしいことである。加速する人口減少下において、改めて議員定数の削減は喫緊の課題だと捉えているが、議会側ではこれからどのような感覚で進めていこうとしているのか。
- ③ 有権者として各議員の仕事を評価するため、市議会だよりの予算特別委員会・常任委員会欄に質問者の氏名を掲載できないものか。

（2）市政に対する事項

- ① 移転先の北浦コミュニティセンターへ展示する「ギネス認定巨大桶」について、現在の保管場所はどこか。
- ② 船川地区をはじめとした宿泊施設等の開業が相次ぐ中、男鹿温泉郷はますます厳しい状況となっているが、開発等を含めた北部地区への投資や打開策は何か。
- ③ 「観光」を標榜する男鹿市において、「大型バスが通れない」「交互通行が

できない」等の路線が随所に散見される。沿道の支障木の伐倒や枝払いを適宜実施し、観光地への良好なアクセスを確保しなければならないのではないかと。また、旧秋田銀行北浦出張所周辺の「北浦・忍田線」、雲昌寺周辺の「北浦・雪車坂線」、真山神社までの「北浦真山線」や「真山神社線」など、道路の穴ぼこやひび割れが散見されることから、舗装修繕を実施していただきたい。特に北浦中心地から真山地区へ向かう「北浦・真山線」は劣悪な道路状況となっている。

- ④ 令和８年度当初予算では開発的な事業への投資が目立っており、高齢者を含め、いわゆる弱者と呼ばれる立場の方に対する施策が少なく感じる。高齢化率が著しく高い男鹿市において、高齢者の生活こそ、最も難儀を強いられる状況となっている。高齢者を含めた弱者に対する支援・取組にもっと予算を向けるべきではないか。
- ⑤ 公共ライドシェア導入事業や乗合タクシー実証運行事業については、民間事業者を圧迫し、手を引くような事態になり得る可能性もあるため、あまり広めないでいただきたい。それより民間事業者に対するバス購入費の補助等を検討してもらったほうがありがたい。また、市内の路線バスについて、観光客を含め全て１乗車当たり一律２００円としているが、市の財政事情に鑑みると甚だ疑問が生じる。
- ⑥ 除雪も含めた各種路線の維持管理について、県と市、それぞれの管轄が一般市民にも把握できるような仕組みや配慮があれば大変ありがたい。
- ⑦ 「旧温浴ランドおが」の利活用が見込めないのであれば、防犯面や景観面にも配慮し、速やかに解体するべきではないか。
- ⑧ 「北浦・真山線」沿道の御神木とされている「一本松」が道路上に傾き、雲昌寺や北浦漁港を行き来する観光バスや大型トラックが通行できず迂回しているほか、一般車両も交互通行ができず事故等多発している。伐採や移動が困難であるならば、沼地側に回避路を整備すべきと考えるが、災害時の倒木による通行止めなどリスクを回避する意味においても、必ず検討いただきたい。
- ⑨ 除雪事業者のオペレーターに排土板の操作など技術の差があり、北浦地区のある事業者が除雪する路線については、「一定程度の厚さの雪が残る」「住家前に雪を置いていく」など、相当な不満が寄せられている。ぜひとも事業者の選定を精査していただきたい。

- ⑩ 高齢者世帯等の間口除雪について、さらなる支援の拡充を検討していただきたい。

6. 特 記 事 項

■協議等が必要な事項

(1) 議会に対する事項

5. (1) のうち、①、③の事項について

(2) 市政に対する事項

5. (2) のうち、③、⑧、⑨、⑩の事項について